

◆大会参加申込について

(1) 申し込み方法

- ① 右のQRコードから申込みを行ってください。
- ② 個人あるいは代表者が複数(人数入力)の申込みを行うことが可能です。
- ③ 申込みフォームの必要事項を入力して「送信」を押してください。返信メールが届きますので、内容を確認ください。
- ④ 申し込みは7月16日(火)までをお願いします。
- ④ 当日参加もできますが、可能な限り事前の申込みをお願いします。



(2) 参加費について

- ① 参加費はお一人¥1,000です。但し、1所属につき20名を超える参加の場合は一律¥20,000とします。
- ② 参加費は当日受付でお支払いください。
- ③ 複数の申込みをされ、参加費をまとめて事前にお支払い頂く場合は7月5日(金)までに下記の大会口座まで振込をお願いします。尚、振込手数料は申込み者の方でご負担願います。振り込みの確認ができましたら、参加券をお届けします。

宮崎銀行 大淀支店 普通 店番号 070 口座番号 170577
名 義 第47回宮崎県人権・同和教育研究大会
実行委員長 永井 敬雄

- 振込用紙に所属名(学校名等)を記入する際は、記入枠が14文字しかありませんので、地区-所属(学校名)の形で記入してください。
例) 延岡 南小 → ノベオカミナミシヨウ 注) ミヤシヨウ → 宮崎小学校? 宮崎商業高?
- 他校と区別がつく場合は校名のみで構いません。
例) 大宮中 → オオミヤチュウ

(3) その他

- ① 大会全体会および基礎講座では、手話通訳をお願いしています。
- ② 午後の分科・分散会会場は座席数に限りがございます。満席となった場合は他の分科・分散会をご案内する場合がありますので予めご了承願います。
- ③ マスクの着用は各人でご判断願います。
- ④ 当日、発熱がある等体調が懸念される場合は、無理をされず参加を控えてください。

研究会 お問い合わせ先

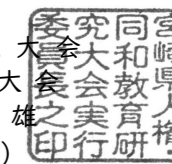
〒880-0903 宮崎市太田1丁目3番39号 宮崎県教育会館内
宮崎県人権・同和教育研究協議会 宛
TEL 0985-65-6003 FAX: 0985-65-6004
E-mail : miyazakikendoukyou@muse.ocn.ne.jp

第47回 宮崎県人権・同和教育研究大会

第40回 宮崎地区人権・同和教育研究大会

開 催 要 項

第47回宮崎県人権・同和教育研究大会
第40回宮崎地区人権・同和教育研究大会
実行委員会実行委員長 永井 敬雄
(宮崎市立大淀中学校 校長)



(印影印刷)

◆大会テーマ

差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう。

◆主 催

第47回宮崎県人権・同和教育研究大会第40回宮崎地区人権・同和教育研究大会実行委員会
宮崎県人権・同和教育研究協議会 宮崎地区人権・同和教育研究協議会

◆共 催

宮崎市教育委員会

◆後 援

宮崎県 宮崎県教育委員会 ほか

◆期 日

2024(令和6)年 7月25日(木)

◆日 程

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	開会行事・記念講演	昼食	分科会	

※ 受付は9時30分からの開始です。大ホールへの入場については、大ホールの準備が整い次第ご案内いたします。

◆会 場

宮崎市 宮崎市民文化ホール
〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25-3 0985-52-7722

◆参 加 費

1,000円(大会資料代 等) *20名以上20,000円 参加費前納の場合に限る

◆記念講演

演 題:「なかまをつくる部落に生まれて」

講 師: ^{もりやま}森山 ^{まさのり}資典 さん[熊本県人権教育研究協議会会長
・熊本県玉名市立横島小学校長]



私は、同和対策審議会答申が出された1965年に熊本県のなかまをつくる部落に生まれました。そして、両親をはじめとする家族の深い愛と多くの人びとの支えの中で育てられ、1969年以降の同和対策特別措置法をはじめとする国や県行政の様々な行政施策によって修学と就労が保障されて、今、社会人として生かさせていただいています。

私が生まれ育ち、今も生活させていただいている行政区のことを行政用語では、同和地区と言い、学校教育現場では、被差別部落と言います。私は、なかまをつくる部落と言います。なぜそう言うかという、それは、私の子どもが教えてくれたからです。

私が育つことができたのは、家族愛と勤労精神に基づく労働が私の家族にあったこと、懸命に生きる私たち家族の生き様に、自分や自分の家族を重ね、「この子の夢を」「この親の願いを」何とかかなえてあげたいと思い行動した多くの方々のおかげです。

そして、この大好きな熊本で部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、誰もが幸福に生きることのできる社会、「水平の良き日」を実現するために働かせていただいています。

そんな私のことや私が出会ってきた子どもたち、なかまの話を通して、参加者のみなさんの人権・同和教育実践のお役に立てたらうれしいです。

◆分科会

- * 分科・分散会の受付は、12:30から始めます
- * 各会場の座席数には限りがございます。満席となった場合は他の分科・分散会をご案内する場合がありますので予めご了承願います。
- * 報告順については、司会者を交えた打合せ会で検討していきますので下表と異なる場合があります。

番号/分科会名	報告タイトル・報告者名(所属)・概要
1 初めての学び・新たな学び 「基礎講座」 会場 大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ●『ダイバーシティについて ~自らが女社長、部長は、幹部の2割が多国籍~』 熱田陽子さん(バッグのあつた社長) 自らが母であり女社長、部長は、幹部の2割が多国籍。日々のアンコンシャス・バイアスという弊害とそれを切り開くべく学び、育み続ける現況と対策について、ダイバーシティのメリットとデメリットを軸という文化を通して考えます。 ●『地域の非行・犯罪防止、青少年の健全育成のために』 阿部久仁彦さん[宮崎少年鑑別所(宮崎法務少年支援センター)] 犯罪・非行臨床の前線から得られた知見に基づき、青少年の立ち直りと自己実現に向けた支援の在り方を考えます。
2 学校のちから・教育のちから 教育内容A 学校での実践・授業	<ul style="list-style-type: none"> ●『部落問題学習の取組』 崎田正生さん(えびの市立真幸小学校) 2016年「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。部落差別解消を目指した教育に取り組むために、このような教材や資料を活用してみてもいいでしょうか。えびの市真幸小学校での実践を報告します。 ●『中学校部落問題学習の実践』 新玉宏司さん(延岡市立延岡中学校) 私自身の経験を含めた部落差別の現実、取組、法律などを学習した内容で、「学び続けることが部落差別を無くすことにつながる」ということを生徒といっしょに考えた授業実践の報告です。
2 学校のちから・教育のちから 教育内容B 学級づくり・なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●『どんな特徴を持った子も同じ子ども、同じ仲間、それが私たちの保育の原点』 ~みんな得意な事、不得意なことがあるのが当たり前~ 水谷美由紀さん(天ヶ城保育園) 発達にでこぼこがあるぼくは、みんなと一緒にすることは出来ないけれど、一緒にいることは出来る。そしてみんながつながってくれた。それが嬉しくて、楽しくて、ぼくもちょっと頑張ることが出来るようになった。仲間って素晴らしい! ●『女性の人権について生徒と共に考える』 畠山洋一さん(宮崎日本大学高等学校) 民法の一部改正で成人年齢が18歳となり、これからの日本社会を担う高校生が、将来、女性としてどのように生き、男性がどのように女性に接するのかを考える一助として、女性の人権を生徒と共に考えたことを報告します。

3 子どもたちの未来の保障 進路・学力保障	<ul style="list-style-type: none"> ●『ひとりひとりの『学びたい』気持ちに応える チーム本庄』 ~生徒との対話をとおして~ 倉橋真喜子さん(本庄高等学校) 様々な生活背景や発達障がい障壁となり、学習上又は学校生活上に、困難を抱える生徒達が、人権学習をとおして他者との関わり方を学び、友人や教師との対話をとおして自己理解を深めていく。その中で生徒が自分で目標を見つけ、進路実現していく。その取り組みと生徒の変容について報告します。 ●『宮崎市の「子どもの居場所づくり」事業について』 児玉和代さん(宮崎市福祉部社会福祉第一課 自立就労支援係) 本市では、生活困窮者自立支援事業において、中学生、高校生、不就労・不就学の若者を対象に家庭や学校以外の「居場所」として「クラッジョ」を設置しています。その事業内容について報告します。
-----------------------------	---

《 会場周辺地図 》

駐車場には限りがあります。できるだけ乗り合わせて起こしいただくか公共交通機関をご利用ください。



- 【バス利用】
- 宮崎駅⇒⇒⇒市民文化ホール(福祉文化)
 - 宮崎駅発(橘通り経由)⇔市民文化ホール・薫る坂行き
(駅西口1番乗場・1時間に2~3便・福祉文化公園で下車すぐ近く)
 - 宮崎駅発(県病院経由)⇔花山手・池田台行き
(駅西口2番乗場・1時間に1~2便・福祉文化公園で下車すぐ近く)
 - 宮交シティ⇒⇒⇒市民文化ホール(福祉文化)
 - 宮交シティ発(南宮崎駅前通バス停経由)⇔市民文化ホール・薫る坂行き
(4番乗場・1日に数便・福祉文化公園で下車)



※参加される方に、別紙「ご参加のみなさんへ」(研究大会参加についての連絡)を配付ください。

